



# 地域支え合い台帳の見本

**【地域支え合い台帳】**

事業主任 駒北村、事業責任者 駒北村社会福祉協議会

この台帳は、地域において災害時の安全確認及び各種緊急時の対応等に日次の支え合い活動を円滑にする役割を担い、それ以外の目的で活用することはありません。但し、駒北村、社会福祉協議会から情報提供の依頼があったとき開示する場合があります。尚且、事業主任が、緊急時の対応に必要となる情報のため、できる限りご記入をお願いします。この台帳は、社会福祉協議会支所と各地域自治会委員が役割を分担して管理しております。

自主住所 名 姓 駒北村社会福祉協議会  
 市内電話番号 2200-0000、ktt電話番号 00-0000 携帯番号 090-00000000

※ 家族の状況（東日本地震により上野井家で被災した方については、番号に○を付して下さい）

氏名	年齢	能力制限が困難な方への看顧（乳幼児・障害者等）	障害者・高齢者（要介護1人、その他）	持っている資格（職業や技能）
1 浅井 大郎	60	○	○	電気工事士
2 浅井 真子	55	○		ヘルパー
3 浅井 心	50	○		次、立
4 浅井 心	45	○		主婦
5				
6				
7				

※ 緊急時連絡先（できるだけ電話番号をご記入下さい）

氏名・住所・電話番号（浅井 大郎 家）  
 浅井 大郎 電話番号 090-0000-0000  
 氏名・住所・電話番号（浅井 真子）  
 浅井 真子 電話番号 090-0000-0000  
 氏名・住所・電話番号（浅井 心）  
 浅井 心 電話番号 090-0000-0000  
 氏名・住所・電話番号（浅井 心）  
 浅井 心 電話番号 090-0000-0000

※ ご近所となつてない（できるだけご記入下さい）  
 ※ 日常生活で支え合いを求めていること、困っていることがある場合は、台帳にチェックして下さい。  
 買い物  家の片付け  介助等  農作業  
 置き物  車庫で  介護等  
 近所に呼び合いがなくて不安  
 その他（ ）

※ 緊急時の対応に必要となる情報がある場合は、台帳にチェックして下さい。  
 買い物  家の片付け  介助等  農作業  
 置き物  車庫で  介護等  
 近所に呼び合いがなくて不安  
 その他（ ）

※ 個人生活の改善等がある方がある場合は、台帳にチェックして下さい。  
 職業や資格、人形、技能に該当する場合は、台帳にチェックして下さい。  
 ソフトウェア、パソコン  
 災害時及び緊急時に、行及対応訓練等に関する関係者であることを希望する場合は、台帳にチェックして下さい。

作成日 年 月 日、修正日 年 月 日、修正日 年 月 日、修正日 年 月 日、修正日 年 月 日



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



# 消火器による訓練



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.





## サロンの実施状況

- 全常会で実施済み（101常会）
- 原則として毎年一回見直し改訂中
- 地域支え合い台帳回収率 98%
- 支援員 3人で全村実施中
- 常会の行事等に併せて実施の所もある
- 台帳の項目ごとに集計し、行政、民生委員にチェックリスト等情報提供して活用している



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



## 効果

- 常会内のことを知ることができた（意外と知らない人が多い）
- 災害に関する知識を得て関心が高まった
- 自主防災組織が少しずつ出来て来ている
- 常会によっては、訓練も兼ねて年間計画として実施している
- 民生委員さんも、担当地区の困っていること等の情報を活用
- 社協や行政としても各種のデータ等収集活用できた 又緊急発生時には、今までに何度か連絡先等で利用した
- 住民支え合い意識が少しずつ向上してきた
- 要援護者相談支援員制度ができて、行政と連携して対応をしている



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



## 今後の課題

- サロンの出席者が少ない（多様な世代）
- 住民が自主的に見直す又はサロン開催の体制づくり（支え合いサロンの継続）
- 行政等に対する各種要望意見のフォロー
- 住民支え合い意識の向上（日常の支え合い）
- 地域の課題発掘と支援の検討  
残された課題を地道に定着させる



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



## 新たな支え合いの姿を求めて

- 地域に求められていること  
安心・安全の確立（自立した生活）  
次世代を育む場としての地域（自分らしく最後まで）
- 地域における新たな支え合いを確立  
多くの住民が自発的参加、情報の共有  
困ったときはお互い様という助け合いの精神  
地域住民がその地域独自に工夫をこらした支え合いの仕組み

住民相互の信頼関係で当たり前に行われること



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.





## 感想

- 大きい常会になるほど、まとまりが弱い
- 常会長、区長の関心度により変わる
- 毎年やっているとマンネリ化の傾向
- 無関心の人がいる(ここは大災害はない)  
最近は大災害が各地であり、関心も高まってきた
- 困っている人と援助できる人のマッチング  
個人情報の問題 (困っている人の発信少ない)
- 地区で福祉関係を担当する人の必要性和  
関係者との連携 信頼関係が大事



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



## 地域の支え合い活動 (参考)

- 社協が主体で行っている
  - ・男のサロン 3地域で毎月1回 45人
  - ・サロン(常会) 各常会で年3~5回 240回  
1回あたり5~15人 60常会
  - ・ひだまりの会 毎週開催 月4~5回/人 75人
  - ・向日葵クラブ 毎週1回 全村より15~20人
- 地区や住民主体で行っている
  - ・地区や公民館の行事 (健康教室 子供育成会等)
  - ・各常会ごとに各種の集まりができています  
お茶会 料理教室 小旅行 趣味の会等自主的に計画実施



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



## 支え合いサロンの目的(参考)

- 住民支え合いマップの更新
- 地域支え合い台帳の整備
- 防災意識を高める学習会等の企画
- 地域の課題の発掘と支援の検討

等を通して住民同士の支え合い意識の  
高揚と防災力の強化を図り  
地域の安心・安全の確保を図る



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



## サロンの対象 (参考)

- 常会の人々とのつながりを作るきっかけづくり
- 対象者はさまざま 多様な世代の結びつき

地域はひとつの大家族



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.



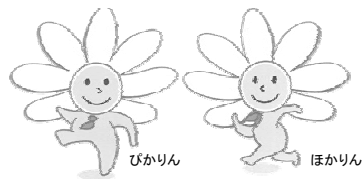
## 運営・活動（参考）

- 地域の自治会（常会等）が中心で活動
- 社会福祉協議会（支え合い支援員等）が支援
- 区長、民生委員、消防関係者、ボランティア等が側面支援
- 活動の場所は公民館等を活用
- 地域の実情に応じて、様々な形態
- 参加者が楽しめる内容を企画する（誰でも参加）



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.

# ご清聴ありがとうございました



Copyright (C) 2013 Chikuhoku Council of Social Welfare All Right Reserved.